

# 「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2016年5月5日（木）9:30～15:30

作業項目：1）林床整備

2）枝打ち

3）カシナガ拡散防止策の効果検証

前年度に予定した作業は一通り終了してはいるが、まだ急斜面に若干間伐放置材を残したままになっているので、今日はその処理をすることにした。

10名が枝打ち班の2名と、林床整備班の4名・4名の3班に分かれ、45林班「ろ4」地区の作業地へ下って作業を始めた。今日の作業場所は斜面が急傾斜なので足場が極めて悪く、作業には慎重を要する。太い間伐放置材にはやむを得ずチェーンソーを使用したけど、できるだけ手ノコで処理するようにした。気象条件は良く、午前・午後精力的に活動できたので、林床に散乱していた放置材や落ち枝、落ち葉類もほぼ片付き、また、枝打ち班2名の活躍のお陰で林間も大分明るくなった。

沢筋から離れた大分高い所で作業中、サワガニが2匹現れたのにはややびっくりした。この辺りで見かけた生物は、マムシ、ダニ、シカ程度だが、ヤマビルのシーズンになったので、今後は作業前の対策が必要になる。

昨年5～6月、カシナガ拡散防止策として、既にカシナガに潜入されているコナラ類を主対象に、数10本の幹に濡れタオル+ビニールシートの巻き付け作業を行った。

効果如何ということで、うち2本の幹からビニールシートと濡れタオルを剥がしてみた。濡れタオルはボロボロになっており幹の皮片などくっついてゴミだめ状態だが、

よく見ると長さ 5 mm 程度のカシナガの成虫の死骸が数匹確認できた。カシナガの潜入防止、拡散防止対策として決定的なものは未だ見つかってないそうだが、我々の実施した方法も、拡散防止策としてはそれなりの効果があったようなので、今年も機をみて実施しようと思う。

【作業参加者】

武田寿夫 斧田一陽 杉本佳英 倉谷邦雄 中村賢三  
福井誠 猪川誠 後藤和子 河野直子 秦康夫

計 10 名



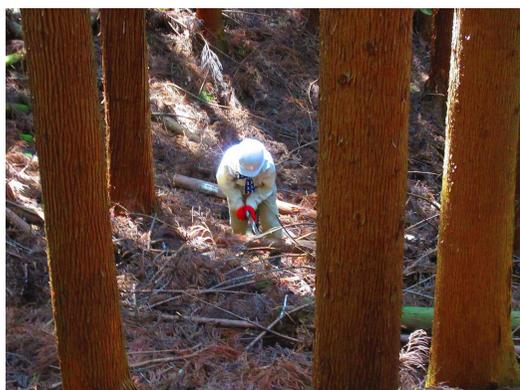
① 集合写真



② 林床整備作業中



③ 林床整備作業中



④ 林床整備作業中



⑤ 林床整備作業中



⑥ 高枝鋸で枝打ち



⑦ ビニールシートを巻きつけたコナラ



⑧ 濡れタオルとビニールシートを剥がしてみる



⑨ カシナガらしきムシ